

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度第2回佐渡市公の施設指定管理者評価委員会
開催日時	令和元年9月24日(火) 13:30~16:15
場所	佐渡市役所 3階 大会議室
議題(会議内容)	<p>1 開会</p> <p>2 評価及び採点方式など全体説明</p> <p>3 議題(評価)</p> <p>(1) 赤泊農林漁業体験宿泊施設サンライズ城が浜・赤泊温泉保養センターあかどまり城が浜温泉</p> <p>(2) 窪田キャンプ場</p> <p>(3) 佐渡海洋深層水分水施設</p> <p>4 結果報告</p> <p>5 閉会</p>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>《佐渡市公の施設指定管理者評価委員》(5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長 佐々木宏史 ・委員 嶋田浩彰、及川智子、中村美登里、本間救 <p>《指定管理施設運営者》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤泊農林漁業体験宿泊施設サンライズ城が浜・赤泊温泉保養センターあかどまり城が浜温泉 赤泊振興公社 ・窪田キャンプ場 OuT DooR's ・佐渡海洋深層水分水施設 新潟県佐渡海洋深層水(株) <p>《事務局》</p> <p>防災管財課</p> <p>管財係長 金子揚則、主任 長嶋麻紀、長尾啓介</p> <p>観光振興課</p> <p>観光施設係長 兵庫研司、主任 鍵谷卓、佐藤由加里</p> <p>地域振興課</p> <p>主任 渡部達也</p>
傍聴人の数	0人

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>事務局から評価採点方法等の説明の後、観光振興課関連施設の説明、委員からの質疑、採点、回収、その後地域振興課関連施設の説明、委員からの質疑、採点、回収を行った。</p> <p>佐々木委員長進行</p> <p>（赤泊農林漁業体験宿泊施設サンライズ城が浜・赤泊温泉保養センターあかどまり城が浜温泉）</p> <p>観光振興課から施設概要説明。 赤泊振興公社(株)から補足説明。</p>
佐々木委員長	職員の資質向上等の研修会の記録はあるか。
赤泊振興公社	記録は無いが、宿泊関連の法令研修があり、担当が出席している。
中村委員	資料中、利用者サービスの向上としてアンケートを実施について、年間を通して行っているようだが、その利用者の満足度調査の回答結果の実績は25人で間違いないか。
赤泊振興公社	新潟県で行った利用者満足度調査のアンケート回答者が25人である。客室に設置してある用紙に記入してもらい、チェックアウト時に提出したものである。それとは別にサンライズ城が浜独自のアンケートも行っている。
及川委員	体験宿泊施設について、具体的にどのような体験の実績があるか。
赤泊振興公社	体験プログラムは、赤泊民話の語り部体験、裂織り体験、磯釣り体験等である。その他個人型プランとして遊漁船体験を行っている。わらぞうり体験、シルクフラワー体験はインストラクターが高齢となり、後継者がいない為、平成29～30年度は実施できない状況であった。
及川委員	具体的に、どのようなPRをして体験を案内しているのか。
赤泊振興公社	ホームページで案内している。
及川委員	就業規則が、設立当時の制定のようであるが、法改正もあるので見直し等の検討が必要かと思う。

嶋田委員	設置目的に基づいて設立当初、目標 8,000 人とあったが宿泊者の人数であるか。また日帰りとは温泉、食事及び宴会を言うのか。
赤泊振興公社	宿泊者と日帰りの数である。平成 13 年の設置当時、温泉はなかった。宿泊者が 2,500 人、日帰り者が 5,500 人、合わせて 8,000 人を目標としてスタートした。日帰りとは食事、宴会等である。
嶋田委員	資料①の利用実績について、平成 29 年～30 年とも宿泊者の目標が 4,600 人、稼働率 45%を目標に掲げているが、宿泊者についてはそれぞれ目標には若干至っていない中で、稼働率について 45%を達成しているのは、当初見込んでいた稼働しようとしていた分母になる稼働日が、何らかの理由で少なくなったので稼働率が上がったということであるか。
赤泊振興公社	最近、利用の形態が 1 人一部屋といったシングルユースになってきて、1 部屋使用が増えてきた為、データ化すると人数は目標に達していないが稼働率は上がってくる。
嶋田委員	利用者増加の収入と経費削減で少しでも利益を上げていく為に、利用者のニーズ、需要を見ながら計画を立て、地域で頑張ってもらいたい。
佐々木委員長	収益の改善といった部分での今後の見通しを所管課からも聞きたい。
観光振興課	現在、サンライズ城が浜の運営者である赤泊振興公社と収益の改善について商工会へ相談している。宿泊料は佐渡市の条例で決まっており、和室（トイレ付）大人の場合 1 泊 4,200 円、和室、洋室（バストイレ付）は 1 泊 4,720 円となっている。現在はこの金額を越えることはできない。少しでも収益を改善したいということで宿泊料の額を上げる中でハイシーズン、オフシーズンの値段を決め、収益の改善を図り、公社から出ている基本財産の取崩しがなくなり、運営できるようにと考えている。
佐々木委員長	どの程度の上げ率を考えているのか。それに対して観光客の減収にならないか、維持できるか、何%程度の改善を考えているか。
観光振興課	宿泊料金を、1,000 円～2,000 円上げる方向で条例を改正したい。それによって公社からの支出が減っていくのではないかと考えている。
佐々木委員長	利用人数、宿泊者の平均が 4,400 人位。そこへ 1 人に対して 1,000 円～2,000 円上げるという事でマイナスは改善できるという見通しという事で良いか。
観光振興課	すぐに改善できるかどうか分からない。上げることで利用者が減る可能性もある

	<p>が、宿泊料金が他の施設と比べても安すぎるので、まずは料金を変えて改善を図りたい。</p>
佐々木委員長	<p>決算書の中に修繕費等の積立金が全く含まれていないが、用意していないという事でよいか。また減価償却費がなく、車両等保有している資産状況が分からない。</p>
赤泊振興公社	<p>車両は佐渡市所有になるため、償却資産等にはあがらない。修繕費について、1件につき20万円以下について収支予算書の中で予算を決め支出している。また1件につき20万円以上については仕様書にもあるが、全額佐渡市で修繕する事になっている。</p>
佐々木委員長	<p>利用者ニーズのアンケートで25件は少なく感じるが、利用した方が何を見てきたか、年代、性別等の分析、例えばトライアスロンで利用したのか、個人旅行か、ファミリーで来たか等分析できていると考えるとよいか。</p>
赤泊振興公社	<p>アンケートは新潟県へ送り、集計されて結果はできている。年齢別、性別、出身都道府県名、客室、温泉、食事の感想、スタッフの対応、施設売店等の満足調査等の結果がわかる。</p>
佐々木委員長	<p>避難訓練等の記録はとっているか。</p>
赤泊振興公社	<p>消防の方で、年に1回立ち入り検査をしている。今年は9月と3月に避難訓練を実施した。</p> <p>(窪田キャンプ場) 観光振興課から施設概要説明。 OuT DooR' s から補足説明。</p>
中村委員	<p>最大でテントはいくつ張れるのか。また、4月25日から10月末まで月にどれぐらいの方が利用するのか。</p>
OuT DooR' s	<p>去年のロングライドでは60ぐらい張れた。ロングライドやトライアスロン参加者の利用は一人用のテントなので多く立てられる。お盆は皆大きなテントで来るのであまり立てられない。その為、枝を切ったりゴミを拾ったりしてテントを増やせるようにした。実績について、トライアスロンなどのスポーツイベントやお盆時期に利用者が多いが、繁忙期以外では月に30組ほどの利用がある。今年は6月の週末が四週とも雨や地震、お盆においては台風のためキャンセルが多かった。</p>
及川委員	<p>情報提供状況ということで平成30年度は携帯から12回発信しているとのことであ</p>

	<p>るがどのような形で発信しているのか。</p>
OuT DooR' s	<p>キャンプをしている写真や佐渡の四季折々の自然がわかる写真を使い、キャンプ場までの案内を発信している。またトライアスロン、ロングライド会場への利便性や子ども連れでも安全な遠浅の海水浴場があること、買い物や入浴施設、飲食店が近くにあり長期滞在に便利だということを発信している。</p>
及川委員	<p>これだけの利用価値があるが、これまであまり PR してこなかったのか。これからパンフレットを作成する計画なのか。</p>
OuT DooR' s	<p>利用者が気に入ってくれて、パンフレットを希望してくる。利用者からの口コミで広く伝わるので、大学のクラブやボーイスカウトなどの体験の方にパンフレットを作成し、送りたいと考えている。</p>
嶋田委員	<p>ロングライド、トライアスロン等のスポーツイベントとお盆の時期に利用者が増えるとの話があったが、具体的にはどういった利用者が多いか。リピート率はあがっているのか。</p>
OuT DooR' s	<p>5月のゴールデンウィークはやはり客が増えた。また9月～10月は釣り客が多い。お盆については家族客のリピーターが多く、スポーツイベント時は個人客が多い。利用者からの声でスイカ割りセット、ミニトマトなど朝採り野菜のサービスなどの自主事業を行っている。</p>
嶋田委員	<p>情報発信で写真など良い面を、携帯を使って情報発信しているということだが、そこにぜひ経営者からの積極的なアピールや、利用者の生の声などを載せてリピート率をあげていただきたいと考えるが。</p>
OuT DooR' s	<p>施設内に自由に書き込めるノートがあり、さまざまな意見が載っているので発信していきたい。</p>
佐々木委員長	<p>佐渡市にあるキャンプ場の口コミ平均値があるが、ご存じか。3.8。利用料の増収状況から良い施設だと思うが、佐渡の他の場所と比べたときに厳しい口コミがある。佐渡市から委託を受けているということを念頭においていただきたい。</p>

	<p>(佐渡海洋深層水分水施設)</p> <p>地域振興課 渡部主任から施設概要説明。 新潟県佐渡海洋深層水(株) (以下、「NISACO」) から補足説明。</p>
佐々木委員長	従業員に対する個人情報の取扱いについて、雇用契約時に同意書等を取り交わしているか。
NISACO	雇用契約書にその旨の記載がある。
中村委員	島内にある両津、新穂、佐和田の3箇所の取次所ではどのようなことをしているのか。
NISACO	利用者が20ℓのポリ容器を用意し、3箇所の取次所に出してもらえれば、多田地区まで来なくともこちらで容器を回収し、翌日に届けるサービスを行っている。
佐々木委員長	20ℓをいくらで販売しているのか。
NISACO	水は100円で販売している。その他に配送手数料として100円、取次所の手数料として100円、合計で300円をいただいている。10月以降も税込で対応する。
嶋田委員	農業利用など、利用促進に向けた色々な取組みを行っているとのことだが、その他にどのような取組みをしているのか。 自主事業の取組みで、南蛮エビ、カニ等の販売は個人と飲食店でどれほどの顧客がいるのか。その利用を増やすために営業回りをしているのか。
NISACO	農業利用以外には温泉施設への利用もある。また、水槽・いけすへの配送など、大口で8箇所に提供している。 自主事業の件数は、12月には600～700件の出荷数がある。営業については、問合せ対応の他、ボトリング工場の顧客へも案内している。
及川委員	設置目的に医療分野での活用とあるが、どのようなことをしているのか。
NISACO	実際には医療という明確なものは扱っていないが、老健施設や寺泊きんぱちの湯のお風呂への利用など健康増進が図られ、色々な効果・効能があると言われている。医療への活用は法律の課題もあるため、それをどう解決していくかが、大きなポイントになると思っている。
佐々木委員長	収支状況は厳しいところもあると思うが、次年度に向けた収益の増収確保策があれば伺いたい。

NISACO	<p>海洋深層水に対する認知度不足が課題と考えるため、CM等メディアによるPR、取次所の増設などの利便性の向上、注文しやすいシステム作りを検討する。</p>
佐々木委員長	<p>以前の会議では海洋深層水が配られていたが、最近は配られていない。市の節減等もあるかと思うが、まずは島民に知っていただく必要がある。自販機にひと枠確保するなど、島民から当たり前のように思ってもらえるような飲み物にしていきたい。佐渡のブランドとして金額だけでは図れないものがある。</p>
中村委員	<p>3箇所の取次所があることを知らなかった。もっと多くの人に知ってもらうことが大事だと思う。島民にこれはいいと思っただけでなければならぬ。</p>
	<p>【 審 査 】</p>
	<p>4 結果報告</p>
	<p>5 閉会</p>